ヨシナカ新聞

紫陽花を見に行こう

６月に入りました。梅雨が始まるこの季節に有名な花と言えば紫陽花（あじさい）。紫陽花はこのシーズンにぴったりの日当たりが苦手な花なのだそうです。名前の由来は「あつ（集）」と「さあい（真藍）」がドッキングして『あづさい』になり、それが変改して『あじさい』になったのだそうです。

本来の「紫陽花」とは、唐の詩人の白居易が命名した別の紫の花のことで、平安時代の学者、源順（みなもとのしたごう）が今のあじさいにこの漢字を充てたため誤用がひろまったそうです。関西には紫陽花の名所が多いので、この季節、時間があれば是非足を運んで下さい。インターネットで『紫陽花の名所』で検索すれば、色々と出て来ますが、聞くところによると、奈良県大和郡山市の矢田寺、京都府宇治市の三室戸寺がお勧めなのだそうです。矢田寺では『あじさい弁当』が食べられるそうです（要予約）。ちなみに写真は当社内で咲いていた紫陽花です。（六月一日（金）撮影）。

６月号
発行所
㈱北陸ヨシナカ
大阪本社工場
TEL:072-977-8861

サラリーマン川柳

『脳年齢　年金すでに　もらえます』

第一生命が主催するサラリーマン川柳。最近発表された第二十回のベスト１位に輝いたのが上記の句です。

サラリーマンをはじめ、OL、主婦、学生、誰でも参加でき、日常に起きる何気ない出来事をユーモアと風刺のセンスで表現した作品が毎年ベスト１００まで公開されています。

過去4～20回のそれぞれのベスト10から、私が印象に残った12句を紹介させて頂きます。本当はもっとたくさんあったのですが、選抜するのに苦労しました。

第7回	1位	連れ込むな！　わたしは急に　泊まれない
〃	6位	帰りぎわ　とらなきゃよかった　この電話
第8回	6位	ようやった!!　事情が変った　なぜやった!!
第10回	5位	「知恵を貸せ」　貸したらおしまい　「君がやれ」
第11回	2位	入歯見て　目もはずしてと　せがむ孫
〃	3位	売る人の　顔見てやめた　化粧品
第12回	1位	コストダウン　さけぶあんたが　コスト高
第13回	1位	プロポーズ　あの日にかえって　ことわりたい
第15回	4位	国民に　しわ寄せよりも　幸せを
第17回	1位	「課長いる？」返ったこたえは「いりません！」
〃	2位	『前向きで』　駐車場にも　励まされ
第20回	2位	このオレに　あたたかいのは　便座だけ

ステンレス豆知識

ステンレスの歴史

今回はステンレスの歴史についてインターネットで調べてみました。

ステンレスが生まれるまでは鉄が主流でした。鉄は、熱処理を行うことによって、強さや硬さや性質を自由に調節することができるため、非常に使い勝手がいいものでしたが錆びやすいという欠点があり、それを補うためにメッキや塗装などが行われましたが、それにも限界がありました。

現在「ステンレスの発明者」として最も知られているのはブリアリーというイギリス人。彼は軍の委託により焼付きの少ないライフル銃の研究に取り組んでいたときにスクラップ置き場から錆びていない鉄片を発見し、調べた結果クロムを13%以上含んだ合金であることを発見し、『ステンレス』と命名しました。

しかし、歴史はもっと古く、1820年ごろ、電磁誘導の研究などで知られるファラデー(1791～1867)が鉄にニッケルやクロムを加えると錆びにくくなる研究結果を発表しました。ファラデーの研究ですでに錆びにくくなる原因は鉄の表面に生成する目に見えない薄い皮膜によるものと推定されていました。ファラデーの「錆びない鉄」研究のきっかけは、インドのボンベイで生産されるウーツ鋼で作られたダマスカス刀剣の切れ味鋭く錆びに強い性質の秘密に迫るためでした。

なお、日本では、ステンレス鋼の名称について海軍では不銹鋼（ふしゅうこう）と呼んでいました。ただし、銹の字は、元字の金へんに粛でした。陸軍では当初、不錆鋼（ふせいこう）と呼んでいましたが、たまたま研究員の病死などで研究が中断しました。以降、大成功の縁起をかついで耐錆鋼（たいせいこう）と名前をかえました。1936年には、『金属鉱物標準用語』の中で『不銹鋼』という名称に統一されたそうです。

一昨年の５月号にも記載させて頂きましたが、ＪＩＳ記号のSUSは、鋼(Ｓｔｅｅｌ)＋用途(Ｕｓｅ)＋ステンレス(Stainless)、の頭文字です。

K社員のピアノ奮戦記

第十七話　明日に架け損なった橋　その2

難しいリズムの箇所を、別の紙に拡大して　書き写して、それを元に練習する方法は、たまにだったら良いのですが、しょっちゅう出てくると嫌になって来ます。根気のない私はそれもしなくなりました。

しかし、そんな私を譜面は許してくれません。これでもか、これでもかというくらいに、意地悪付点音符爆弾を私に浴びせかけて来ます。

こうなると、いくら楽譜を見てもリズムが頭に入らず、眠くなるばかり。そんな状態が数日続き、とうとう楽譜を開くのも嫌になってしまいました。レッスンも殆ど進みません。

数日悩んだ結果、先生にギブアップさせて欲しいと伝えました。これ以上はもう無理です。ごめんなさいと自分の気持ちをストレートに話しました。先生は、「わかりました。そんなこと全く気にしなくていいんですよ。一番大切なのはピアノを続けることなんです。またいつか弾けるようになる日がやって来ます。そんなに自分を責めちゃ駄目ですよ」と優しく仰って下さいました。先生の言葉が天使の声に聞こえました。